

第2学年 学級活動（人権）学習指導案

1 主 題 大切な心と体を守るために

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

望ましい人間関係を構築するためには心と体の距離感を守ることが大切であることを理解し、相手の気持ちを尊重した意思決定をするとともに、自分や身近な人が被害に遭った場合には信頼できる大人に相談しようとする態度を養う。

4 指導計画

(1) これまでの学習

総合的な学習の時間「性教育出前授業」・・・・・・・・・・2時間

道徳科「残された水」・・・・・・・・・・1時間

総合的な学習の時間「デートDV出張講座」・・・・・・・・・・2時間

道徳科「人間の命とは」・・・・・・・・・・1時間

(2) 現在の学習

学級活動「大切な心と体を守るために」・・・・・・・・・・1時間（本時）

(3) これからの学習

道徳科「生まれてきてくれて、ありがとう」・・・・・・・・・・1時間

家庭科「赤ちゃん授業」・・・・・・・・・・2時間

5 本時の学習

(1) 目 標

望ましい人間関係を構築するためには心と体の距離感を守ることが大切であることや性暴力の実態について理解し、相手の気持ちを尊重した意思決定をするとともに、自分や身近な人が被害に遭った場合には信頼できる大人に相談しようとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 個人の尊重

個別人権課題名 犯罪被害者等

(3) 展 開

学習活動	指導上の留意点
1 よりよい人間関係について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ よりよい人間関係とはどのようなものか問いかける。 ○ 心と体には適切な距離感があることを伝え、実際に体感することでその感覚には個人差があることに気付かせる。
性暴力について学び、被害者にも加害者にもならないようにするにはどうすればよいか考えよう。	
2 性暴力の実態を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 性暴力にはどのようなものがあるか、接触型暴力と非接触型暴力について提示する。 ○ 性暴力に性別は関係なく、身近な問題であることに気付かせる。 ○ 画像や動画をSNSやインターネット上に載せることについてのリスクを説明する。
3 対等な人間関係を築くためにはどうすればよいか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 非対等な人間関係が、性暴力につながる可能性があることを伝え、その結果、被害者は心身に様々な傷を負うことや、被害者が訴えにくい状況にあることを理解させる。①
4 被害に遭ったときの対応を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> ○ 被害に遭ったとき、どのように対応すればよ

5 本時のまとめをする	いか考えさせる。 <input type="radio"/> 信頼できる大人や友人，専門機関などへ相談することをすすめる。 <input type="radio"/> 相手の気持ちを尊重することで，よい人間関係を築けることを再確認する。
-------------	--

(4) 評価

・心と体の距離感を守ることの大切さや性暴力の実態について理解することができたか。

【知識的側面】①

・相手の気持ちを尊重した意思決定をし，自分や身近な人が被害に遭った場合には，信頼できる大人に相談したりしようとする意欲を高めることができたか。

【価値的・態度的側面】②